

■事業の概要

1. 管理運営全般

(1) 理事会及び評議員会の開催状況

平成 27 年度において、理事会を 5 回、評議員会を 4 回開催しました。

(2) 監査の実施状況

ア. 監事監査

監事は、平成 27 年度に開催されたすべての理事会・評議員会に出席し、学園の重要な業務の決定及び執行状況等について監査を行いました。

また、平成 24 年度より中間監査を行っており、平成 27 年度も前期予算執行状況の監査及び理事の業務執行状況を確認しました。

なお、会計監査では同席した監査法人の業務執行社員に主要項目について説明を求め、計算書類および財産目録等について監査を行いました。

イ. 監査法人による会計監査

平成 27 年度において、監査法人彌榮会計社による監査が 18 日間に亘って実施されました。

ウ. 内部監査

平成 26 年度の科学研究費補助金等の公的研究費にかかる帳簿と証憑および平成 26～27 年度科学研究費交付者の通常監査ならびに特別監査について、内部監査委員による内部監査を行いました。

(3) 将来構想検討委員会

将来構想検討委員会は、学園教職員の中からメンバーを委嘱し、学園の将来を見据えた大学の戦略を策定する場として機能しており、平成 27 年度も、学園が当面する諸問題等を検証し、将来構想についての検討を行ってきました。

平成 28 年度も引き続き学園の将来構想について検討を行う予定です。

2. 大学・大学院

(1) 学生募集、広報関係

学生募集においては、入学生の質的および量的な確保のため、積極的な広報活動に取り組んでいます。重点施策として、オープンキャンパスの動員強化や資料請求者に対するきめ細かいフォローを行ったほか、近畿エリアを中心として頻度をあげて高校訪問を行い、訪問時期に応じた情報提供と情報収集につとめ、信頼関係の醸成に努めています。また、一部の試験区分を除いてインターネット出願に全面移行し、受験生の利便向上と事務処理の合理化を図りました。

平成 28 年度の志願者数は、前年度の大幅な志願者増の反動等により全体で 10.7%の減少となりました。

(2) 大学院の教育課程の見直し

大学院（保健医療学研究科）について、教育内容の充実を図るため、平成 29 年度を目処に、教育課程変更の検討を行いました。

(3) アクションプランの策定

建学の精神を具現化し、優れた医療人を社会に送り出すため、教育の方法と仕組み及び教育環境について、さまざまな改善の取り組みを行っています。学内で進行中の取り組み及びこれから計画的に実行していく改革について、平成28年度に受審する第三者機関による機関別認証評価を見据えた点検と整理を行い、本学の中期目標・中期計画と、それを実現するための具体的な年次計画を「関西医療大学 中期目標・中期計画（平成27年度～平成31年度）に係るアクションプラン」として策定しました。今後、進捗の点検・評価と適切な見直しを加えながら、それぞれのプランを推進していきます。

(4) 学修成果発表会の開催

平成27年9月4日（金）に、学生主体の学修成果の発表により、個々の勉学に対する追求心の向上と学科間の交流を図ることを目的として「第1回学修成果発表会」を開催しました。参加学生数は334名にのぼり、また、夏休み中から準備をする学生が多く見られるなど、学生の学修意欲を感じるイベントとなりました。

(5) 教育環境の整備

- ①理学療法学科及び保健看護学科の収容定員増に対応して、教具・教材の整備等を行いました。
- ②平成25年4月設置の臨床検査学科については、平成27年度から始まる臨地実習への対応や必要な教材・図書等の購入など、設置計画の確実な履行と設置計画に基づいた教育環境の整備等を行いました。
- ③その他、必要な教材等を購入するなど、教育環境のより一層の充実を図りました。

(6) 学生サービスの充実

- ①昨年度に引き続き、成績が優秀な学生を対象とした特待生や関西医療学園奨学生を採用しました。
- ②学生増に対応して、朝・夕の通学時間帯に路線バス（急行便）各1便を増便しました。

(7) 進路支援

学生の進路指導については、各学科の進路個人面談を行ったほか、キャリア支援イベントとして「合同就職説明会」、面接のマナー（模擬面談）講習やコミュニケーション研修などの「キャリア教育」、「卒業生と語る会」、「特別講義」等を開催しました。

また、平成25年度に開設した臨床検査学科について、就職情報の収集等を行い、病院、検査センターなどに対して求人依頼を行いました。

(8) 新入生のモチベーションアップ講演会の開催

4月3日（金）の入学式終了後に、新入生を対象として、学生の勉学や就職へのモチベーションを高めるため、「人間力」についての特別講義を開催しました。また、この講演会の時間に、保護者説明会を開催し、学生生活に必要な事項について、保護者の方々に説明を行いました。

(9) 研究

教員が12の研究ユニットのいずれかに属し、共同研究推進委員会がこれを統括するという研究体制を取っており、研究体制のさらなる改良を検討しています。その他、学内において研究交流会の開催等の活動を行っています。

平成27年度は、「研究倫理教育」および「コンプライアンス教育」に係る学内研修会を開催しました。さらに、学内の全教員、研究に係る業務を担当する職員および大学院生が、eラーニングに

よる研究者行動規範教育「CITI Japanプログラム」を受講することで、研究倫理教育のより一層の推進を図りました。

外部資金としては、文部科学省および日本学術振興会の科学研究費補助金を獲得しました。

(10) 施設・設備の整備・補修等

①老朽化に伴い、1号館211・212講義室の床面、壁面の修繕および一部改装を行いました。

さらに212講義室の移動式の机、椅子についても劣化しているため、新規購入しました。

②使用頻度の非常に高い事務室内の教材・事務文書印刷用の印刷機が、耐用年数を超えているため、入れ替えました。

(11) 自己点検・評価、FD・SD活動等

ア. 自己点検・評価活動

平成28年度の認証評価受審を見据え、大学が、教育研究水準の向上や活性化に努めるとともに、その社会的責任を果たしていくため、その理念・目標に照らして自らの教育研究活動等の状況について自己点検し、現状を正確に把握・認識した上で、その結果を踏まえ、優れている点や改善を要する点など自己評価を行っています。

また、平成17年度から、「教員の活動状況調査票」による教育研究の実態調査を開始し、学長がこの調査票を取りまとめ、将来の参考として保存しています。引き続き、平成26年度の調査を行いました。

イ. FD活動

本学の教育目的および社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況の自己点検・評価や、必要な改善点について、検討を行いました。

また、以下の通りFD活動を行いました。

- ①学内講師による講演会の開催
- ②公開授業（教員相互の授業評価）の実施
- ③授業評価アンケートの実施
- ④学外研修会への参加
- ⑤Pre-GEテストの実施
- ⑥初任者研修会の開催

ウ. SD活動

文部科学省、日本私立学校振興・共済事業団、私学経営研究会および日本私立大学協会等が実施する外部研修会に事務職員を参加させる他、職員自身が業務の専門性や効率性の向上を目指すように支援し、職員全体の資質の増進に努めました。

また、外部から講師を招き、ハラスメント研修会を開催するほか、平成26年度に引き続き、平成27年度も本学職員を講師とし、学内において、SD研修会を開催しました。

(12) 国際協力機構からの研修生の受け入れ

本年度も、7月から9月まで、独立行政法人国際協力機構（JICA）日系研修員受入事業の「鍼灸学」コースの研修生1名（ブラジル）を受け入れました。

(13) 地域貢献・社会貢献

ア. 公開講座の開催

今年度で公開講座の開催が、通算第30回を迎えるにあたり、メインテーマを「未病から先が

けの医療へ」― 生と医の未来を切りひらく― と一新して、平成27年10月19日（土）に公開講座を開催し、219名の参加がありました。

外部より講師を招き、「理学療法」に関する講演およびシンポジウムを行いました。

イ. 熊取町との連携

地元熊取町に対し、引き続き各種市民講座への講師派遣、行政への協力のほか、定期協議を継続して行っています。また、町からの求めに応じて、講師を派遣するなど、以下の通り町内の健康福祉等の事業に協力しています。

- ア) 「障害程度判定区分委員会」委員に就任
- イ) 「熊取町保健対策推進協議会」委員に就任
- ウ) 「健康お悩み相談コーナー」開設
- エ) 「熊取町防災会議」委員に就任
- オ) 「熊取町交通事故をなくす運動」推進本部 理事に就任
- カ) 「くまとり美しいまちづくり推進委員会」委員に就任
- キ) 「町民文化祭」「農業祭」等の町イベントへの協力

ウ. 大学間連携の強化（大学コンソーシアム大阪）

大学コンソーシアム大阪の一員として、引き続き事業に参加し、連携しています。

特に大学の募集活動並びに大学運営に必要と思われる事業について、積極的に連携を図っています。

(14) 大学ポータルへの参加

平成 26 年度より、日本私立学校振興・共済事業団が運営を開始した「大学ポータル」（全国の私立大学が統一フォーマットの下、インターネット上で教育情報を開示する事業）に参加しました。

(15) IR (Institutional Research) 活動への取組み

学生教育や大学運営に関するデータベースの構築と分析を目的とする IR 活動を推進するため、平成 26 年度より本学内に教職協働の組織（IR ワーキンググループ）を発足しました。平成 27 年度は、学内の各種委員会および事務の各部署と連携しながらこの組織の活動を本格化させ、学生教育に関するデータを中心に整理と分析を行いました。

3. 大学附属保健医療施設

本学附属保健医療施設は、大学の臨床教育機関として、また、地域の保健医療機関として重要な役割を果たしています。

平成 27 年度は、保健医療施設全体で基本理念・行動指針に基づいた患者ニーズに沿った診療・治療を行いました。介護保険事業の通所リハビリテーションにおいては、地域の介護支援事業者と日常的な連携を強化し利用者の増員を図り、よりよい通所リハビリテーションに努めました。

(1) 附属診療所の運営

通所リハビリテーションの実施による切れ目のない維持期リハビリテーション体制の構築、学生の臨床実習において当診療所で医療・介護ともに実施できる環境、介護保険事業参入による波及効果として新規患者数の増加に努めました。また、地域基幹病院と連携強化を図り当診療所と

して持っている特有の機能を十分発揮し、紹介や逆紹介、近隣開業医からの MRI・CT 撮影の外部オーダー増件等、その役割を有効利用し地域医療の貢献、患者数増に努めました。

(2) 鍼灸治療所の運営

鍼灸治療所は保守管理を業者に託する等とした新顧客管理システムについてソフト開発の業者と締結しました。また、外部 PR 活動の一環としての健康講座等の取組みによる増患対策に努めました。

(3) 附属接骨院の運営

平成 27 年度は施術管理者の変更等により新しい施術体制となり、治療部長を中心とした治療方針及び情報共有により患者ニーズに沿った治療体制、病状に合った施術方法を確立、接骨院内での運動指導及び接骨院外での運動教室の強化、診療所・鍼灸治療所との連携による患者数の増加に努めました。

また、外部 PR 活動の一環として運動指導・運動教室を年間スケジュールで計画的に行い、積極的に広報、啓蒙活動に取り組みました。

(4) 危機管理体制の充実・強化

インフルエンザ等感染症・個人情報保護等における適切な対応を図るため、危機管理体制の充実・強化を図りました。

(5) 広報活動の推進

平成 27 年度も、以下の通り引き続き広報活動を行い、新規事業である通所リハビリテーションを含めた保健医療施設の認知度向上を図りました。

- ア. 附属保健医療施設屋外看板の設置
- イ. 地域情報誌等への PR
- ウ. 近隣ボランティア活動の会と交流、地域住民への PR
- エ. ホームページ委員会と連携し充実した内容への更新
- オ. 接骨院主催の運動教室・公開講座参加者等への PR
- カ. 公民館など熊取町公共施設への診療所パンフレット設置（熊取町に依頼して設置）
- キ. 地域医療機関及び居宅介護事業所との連携
- ク. リーフレットを作成し介護支援事業者等への PR
- ケ. 保健医療施設のパンフレットを作成し、診療所内及び外部へ PR

4. 専門学校

(1) 自己点検・評価及び F D ・ S D 活動等

ア. 自己点検・評価の実施

自己点検・評価委員会において、平成 26 年度の評価をとりまとめ、ホームページに報告書を公表しました。また、文部科学省委託事業「理学・作業療法の第三者評価等に係る先進的取組の推進事業」成果報告会及び全国柔道整復学校協会制度委員会研修会に出席して、情報交換を行いました。

イ. FD研修会の開催

ア) 柔道整復学科教員研修 (平成 27 年 4 月～12 月)

「機能訓練指導員実務スキルアップ通信講座」受講 (一般財団法人日本総合研究所)

イ) 東洋医療 (鍼灸) 学科教員研修 (平成 28 年 2 月 20 日 (土) 10:00～12:00 開催)

「臨床教育を考える」 講師 武田貴司 学科長

ロ) 理学療法学科教員研修 (平成 27 年 8 月 19 日 (水) 13:30～15:00 開催)

「アメリカ理学療法士協会が推奨する理学療法士アシスタントに必要とされる最低限のスキルについて」 講師 西守 隆 教務部長

エ) 学校協会等教員研修

① 東洋療法学校協会教員研修会参加 (平成 27 年 8 月 4 日～5 日、北海道)

② 柔道整復学校協会教員研修会参加 (平成 27 年 8 月 22 日～23 日、静岡)

③ 全国リハビリテーション学校協会教員研修会参加 (平成 27 年 8 月 26 日～28 日、仙台)

④ 近畿リハビリテーション学校協議会教員セミナー受講 (平成 27 年 9 月 12 日、大阪)

ウ. SD研修会の開催

ア) 全校研修 (平成 27 年 7 月 4 日 (土) 10:00～11:00 開催)

「ハラスメントの防止と発生時の対応について」

講師 小牧美江 先生(大阪司法書士会 司法書士)

イ) 事務職研修 (平成 27 年 8 月 1 日 (土) 14:00～16:30 開催)

「職業実践専門課程・教育訓練給付金制度・学校会計について」

講師 徳田明也 課長、田中慎一 係長、三谷敏昭 係長

エ. 教育講演会の開催

学生のモチベーションを引き出す取り組みとして、教育講演会を開催しました。

新入生 (平成 27 年 4 月 4 日 (土) 14:30～16:00)

在校生 (平成 27 年 4 月 5 日 (日) 10:30～12:00、13:00～14:30)

講師 坂東弘康 先生 (一般財団法人日本教育推進財団 会長)

(2) 学生定員の確保及び学生支援

ア. 入試広報活動の強化

ア) 夜間入学相談会の実施

入学相談会について、夜間時間帯の相談を含めて開催数を増やし、対応しました。

イ) プレスクールの開催

入学手続者に対し、就学前の不安を解消し、学習方法の助言や各専門分野に興味をもてるような事前学習を行うことにより、安心して学生生活に進むことができるようにプレススクールを開催しました。(平成 28 年 2 月～3 月)

ロ) 教育訓練給付制度の適用

専門実践教育訓練講座として指定を受けた東洋医療学科、東洋医療鍼灸学科ならびに柔道整復学科の平成 27 年度入学者から教育訓練給付制度が適用されました。

イ. 特待生制度等

ア) 特待生奨学金による学費減免

イ) 学園奨学金の貸与

ロ) 柔道奨学金の給付

(3) 教育環境・施設設備の整備

本館校舎各階のトイレ設備について、老朽箇所に対応するとともに、学生生活環境の向上を図るため、女性用パウダールームの設置など、設備の改修工事を実施しました。

(4) 行政庁への変更承認申請等手続きについて

ア) 校舎用途変更承認申請及び校舎変更届の届出

本館校舎トイレ設備の改修に伴う校舎用途の変更について、養成施設として厚生労働大臣（東洋医療学科）及び大阪府知事（東洋医療鍼灸学科、柔道整復学科、理学療法学科）に承認申請を行い、行政庁担当者による実地調査のうえ、承認を受けました。（平成 28 年 3 月 29 日付）

また専修学校として、校舎変更届を大阪府知事に届け出て受理されました。

イ) 理学療法臨床実習施設の変更承認申請

理学療法学科の臨床実習施設の追加について、大阪府知事に変更承認申請を行い、平成 28 年度から新規施設での臨床実習が承認されました。（平成 27 年 10 月 22 日付）

5. 平成28年度 学生の応募状況

学部、学科（入学定員）		志願者数	入学者数	備考	
関西医療大学	保健医療学部（200名）	1,574名	219名		
	保健看護学部（90名）	949名	101名		
	小 計（290名）	2,523名	320名		
	大学院 保健医療学研究科 保健医療学専攻（9名）	9名	8名		
	合 計（299名）	2,532名	328名		
関西医療学園 専門学校	東洋医療学科（30名）	93名	30名		
	東洋医療鍼灸学科	昼(30名)	56名	30名	
		夜(30名)	49名	28名	
	柔道整復学科	昼(60名)	56名	43名	
		夜(60名)	42名	14名	
	理学療法学科（40名）	103名	43名		
	合 計（250名）	399名	188名		
総 計（549名）	2,931名	516名			

※大学、専門学校の志願者数は重複志望を含みます。

6. 平成27年度 資格試験の合格者状況

学 校 名		資 格	卒業生数	受験者数	合格者数	合 格 率
関西医療大学	保健医療学部 はり灸・ホー・ウトレナー学科	はり師	39名	38名	32名	84.2%
		きゅう師			33名	86.8%
	保健医療学部 理学療法学科	理学療法士	38名	38名	36名	94.7%
	保健医療学部 ヘルスポモーション整復学科	柔道整復師	34名	30名	25名	83.3%
	保健看護学部 保健看護学科	看護師	87名		86名	83名
保健師		17名			16名	94.1%
関西医療学園 専門学校	東洋医療学科	あん摩マッサージ指圧師	27名	27名	27名	100.0%
		はり師			25名	92.6%
		きゅう師			25名	92.6%
	東洋医療鍼灸学科	はり師	35名	35名	28名	80.0%
		きゅう師			29名	82.9%
	柔道整復学科	柔道整復師	82名	82名	65名	79.3%
理学療法学科	理学療法士	37名	37名	30名	81.1%	